

霧ヶ峰基金会報

2010年12月・2011年1月号（通算39号）

発行：特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

〒393-0061 長野県諏訪郡下諏訪町3236番地 Takafactory2 階

TEL 090-9668-3380

e-mail kirigamine.kikin@gmail.com

URL <http://kirigamine-fund.jp>

ブログ 「霧ヶ峰のWA!」 <http://blog.canpan.info/kirigamine-wa/>



この日、この場所で

ここは、いままで何回となく、春も夏も秋も冬も、足を運んだ場所。

霧で何も見えなかった時もあったし、「美しい」と感じる夕陽も何度も見ました。

ところがこの日！

こんなに紅く燃えるように、どこまでもたなびく雲が色を重ねます。

同行者は言います。「こういう風に見えるということは、きっと数百キロ先が晴れているってことだ。」

今日のこの雲と数百キロ先の晴れ。そして今ここに私たちがいるということ。

同じものは一瞬として存在しない、大きな偶然の力を感じずにはいられませんでした。

第6回エコツーリズム大賞・特別賞受賞報告

理事長 小原宏文

前回の会報で速報としてご報告いたしましたとおり、このたびNPO 法人霧ヶ峰基金は、第6回エコツーリズム大賞・特別賞を受賞いたしました。

エコツーリズム大賞は、エコツーリズムに関連し、環境保全、地域活性、良質な体験ツアーの提供等の視点から特に優れた活動を行っている事業者、団体、自治体を環境省が表彰を行うものです。



今回いただいた特別賞は、「萌芽的若しくは特定に分野での優れた取組など奨励すべき取組み」に対し表彰されるもので、このたびの霧ヶ峰基金の受賞は、エコツアーや霧ヶ峰をモチーフにしたオリジナルグッズの開発や販売、また地元イベントの「諏訪温泉泊覧会ズーラ」でエコツアーを実施するなど、エコツアー参加以外を目的に訪れた来訪者にも、エコツアーを通し霧ヶ峰の魅力を伝える活動などに対し、評価をいただいたものであります。

(左写真 後列左より2番目が当基金理事長・小原宏文)



当基金も、おかげさまで活動を始めて5年目となりました。

今回の受賞はこれまでの活動に、ご支援ご協力を賜りましたみなさまのおかげであり、心より感謝申し上げます。今後も躍進を目指し活動を続けて参りますので、さらなるご支援のほどを宜しくお願い申し上げます。

(写真提供：NPO 法人日本エコツーリズム協会、財団法人尾瀬保護財団)

※授賞式の様子やほかの受賞団体の詳細は同封の冊子のほか、NPO 法人日本エコツーリズム協会のホームページにてご覧いただけます。

NPO 法人日本エコツーリズム協会 <http://www.ecotourism.gr.jp/>
(画面右側の「エコツーリズム大賞」のバナーをクリックしてください。)



モニタリング調査短信

5月から調査を続けてきた今年のモニタリング調査も、11月に水環境調査を最後に今年度分の調査を終了しました。

植物相についても、これから降雪の季節となりほとんど対象種は地上部が枯れてしまうため、また来年の春まで調査はお休みです。

この日の水調査、とって水が冷たくて、ところによっては水温 5.0℃と「さすが冬！」という感じでした。

寒いので、この日は高機能インナーに長袖Tシャツ、フリース、レインジャケット、マフラー、帽子…と超☆重装備です！ (担当：降旗香代子)



雑木処理作業に参加しました。

好天の中、10月23日に諏訪市主催による草原再生のための雑木処理作業に参加してきました。雑木処理は今年で10回目を迎え、今年はいけのくるみ方面で作業を行うことになりました。

今回の作業区画は、右の写真のような大径のアカマツが多く、チェーンソーでの伐採が主な作業になりました。しかし、伐採木の枝はらい、輪切り、チップ化（一部）等もあり、やはり、多くの人員が必要であり、みなさん個々で用意した道具で、晴々した草原の中で伴に汗を流してきました。



この数年、私たちが実施しておりますエコツアーでは、いけのくるみの周辺をご案内しつつ、草原や湿原の維持のため行われている火入れや雑木処理についてもご紹介しております。今回の様子はまた次年度のツアーの折にもお伝えして参りたいと思います。（小原宏文）



10月9日、上諏訪街道 秋の呑み歩きに出展しました。



今回の呑み歩きは、ひさしぶりの雨天の中での開催。

冷たい秋の雨にもかかわらず、たくさんの方が諏訪の美酒を求めて集まりました。

私たちが霧ヶ峰からのおいしい水を持って、オリジナル手ぬぐい&ポストカード、淹れたてあつあつコーヒーを引っ提げて、宮坂醸造さんの駐車場の一角をお借りして出展。

酒蔵さんたちと霧ヶ峰の水を通したイイ関係や霧ヶ峰にいらしたところのある方も大勢見えて、楽しいひと時を過ごすことができました。たくさんの方のご来場、誠にありがとうございました。

活動記録（2010年9月1日～10月30日）

9月	4日	・情報収集（霧ヶ峰高原）
	18日	・モニタリング調査（植物相）
	23日	・会報 2010年10・11月号発行
10月	25日	・エコツーリズム大賞・特別賞 授賞式 出席（東京都）
	4日	・信州諏訪温泉泊覧会ズーラ プログラム打ち合わせ会
	7日	・信州諏訪温泉泊覧会ズーラ 説明会出席
	10日	・上諏訪街道 秋の呑み歩き 出展
	16日	・信州諏訪温泉博覧会ズーラ プログラム催行
	23日	・諏訪市 霧ヶ峰高原草原再生 雑木処理作業 参加 ・モニタリング調査（植物相）

霧ヶ峰基金は活動の趣旨にご賛同してくださる方の寄付金を、随時受け付けております。

金額は1円以上から、下記の郵便口座までお願いいたします。

全国の郵便局からいつでもお手続きいただけます。（手数料はご負担ねがいます。）

・口座番号 00520-7-44684

・加入者名 特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

※ご寄付をいただいたかたのお名前の取り扱いについて

寄付金をいただいたかたにつきまして、金額等に関わらずご本人様が希望されない場合を除き、会報上にてお名前をご紹介させていただきます。あらかじめご了承ください。（お名前のご紹介を希望されない方は、その旨をお知らせください）



ツアーレポート



「信州諏訪温泉泊覧会ズーラ」プログラム 晩秋の霧ヶ峰・ひかりを感じる草原さんぽ

2010年10月16～17日に行われたツアーのご報告です。
素晴らしい出会いが私たちを待っていました！

当日、会場とした車山肩は風も弱く、穏やかなお天気。たなびく雲が気がかりです。

晩秋にふさわしく、ススキが風に揺れて銀色の海のように輝き、草紅葉のパッチワークも最高潮です。今日はすばらしいツアーになりそうです。

さあ、参りましょう。

入念な準備体操をして、ころぼっくるひゅってを16:30に出発。



まずは車山湿原を右手に、湿原の下流を見下ろせば沢渡のミズナラが色どり豊かに広がります。

ゆっくり遊歩道を進み、西に大きく開けた丘の上で私たちはしばし、とどまることにしました。ここからは北アルプスと御嶽山、南アルプスが見渡すことができます。今日のこのお天気だったら、きっとステキな夕陽に出会えるはずです。

さあ、もうすぐ陽が落ちます。
雲もかかり始めて、もしかしたら…（期待♪）



そして、ツアーのクライマックス、表紙のような素晴らしい夕焼けが私たちを出迎えてくれました。このときこの場所に、感動を分かち合える人たちと過ごせたことに、感謝いたします。（担当：ふりはたかよこ）
協力：ころぼっくるひゅってさま、ズーラ実行員会のみなさま



誰もが息をひそめて 風の動きを頬に感じて、
さざめく枯れ草の音にさえ心を動かす。

ミズナラの林からは
ニホンジカの甲高い遠く長い恋鳴き
光と雲は 刻々と形を変え 色を変え

これから始まる
この世でたった一つのストーリーを
誰もが静寂をもって待ち受ける



あなたなら、どんな心もちで迎えるのでしょうか。

編集後記

最近、自宅と霧ヶ峰の気温差がだいたい6～7℃くらいあることに気がつきました。…今まで深く考えたことがなくて、「この季節だから…」とか感覚に頼っていたのですが、自宅の温度計と某W社の提供している霧ヶ峰の天気予報と実際の気温をなんとはなしに比べているうちに、この傾向に気がつきました。
「今朝、うちで-1.5℃だから、…おお、霧ヶ峰では-8℃くらい？」って感じて楽しんでいます。（か）

次号会報 2011年2月・3月号は 2011年1月下旬ころ発行予定です。